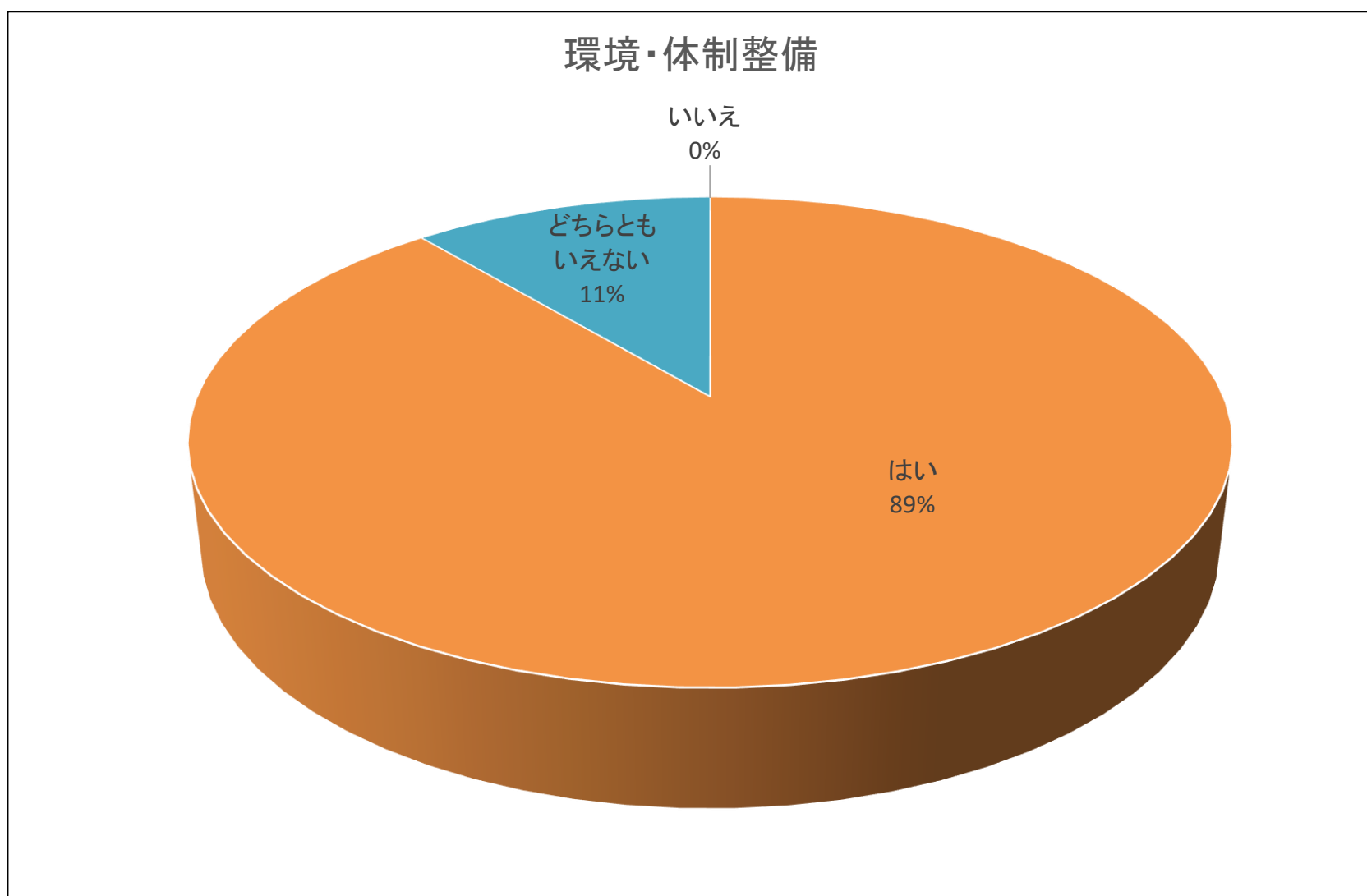


放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 12月 1日

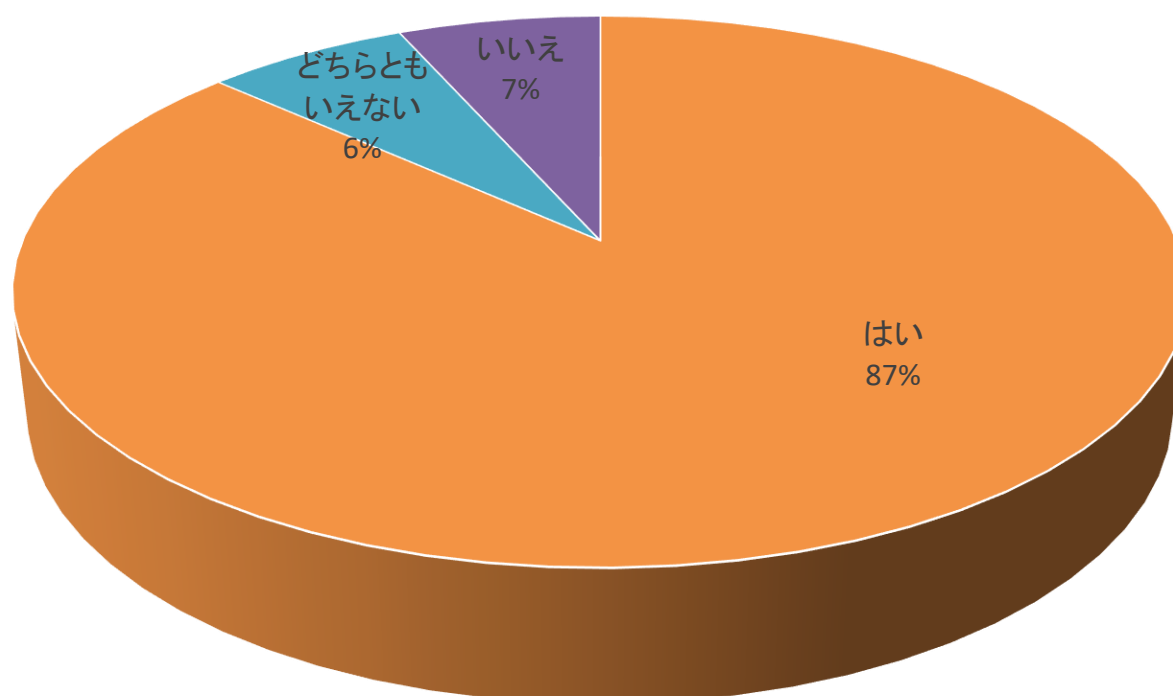
事業所名 多機能型ライフサポート 一互一笑

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	0	* 利用人数が多い日は、同法人の交流スペース等の別室を使用し、工夫している。
	2	職員の配置数は適切である	6	0	0	* 基準以上の人員を確保した上で、利用日、利用人数、時間帯によって対応できるようにしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	0	0	* 施設の委員会で危険箇所などを定期的に確認し、改善を図っている。
	合計		16	2	0	

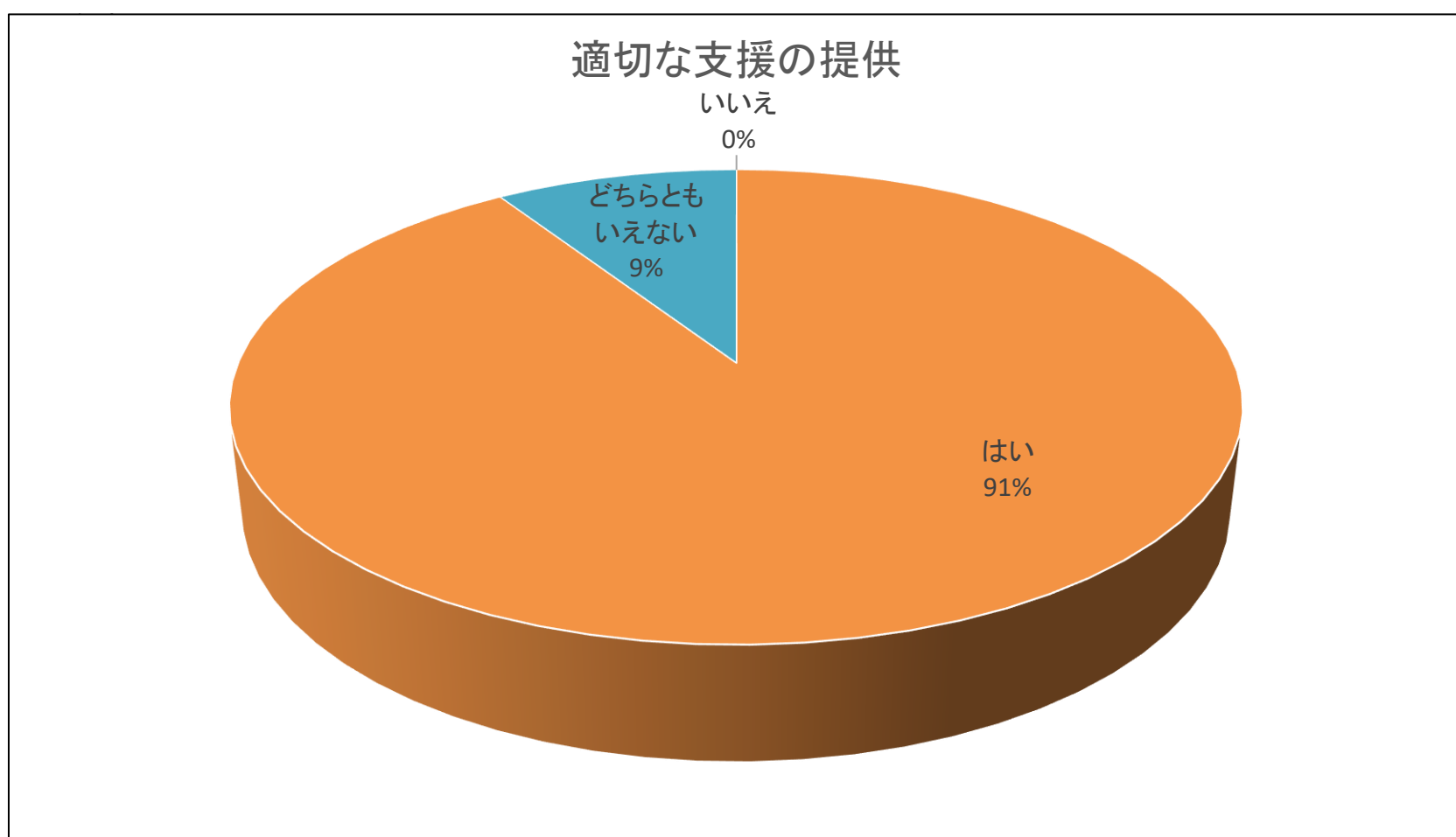


		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	0	* 職員会議の中で、業務改善について話し合う時間を設け、改善に取り組むとともに職員も個人目標の管理シートによって評価している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	* 1年に1回、事業所評価を行うとともに保護者会でも意向を確認する機会を設け、把握に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0	* ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	2	* 第三者による外部評価は行っていないが、透明性を図るため、地域の会議で取組み内容を公表している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	* 年間研修計画を立て、職員みんなが参加できるよう計画している。
		合計	26	2	2	

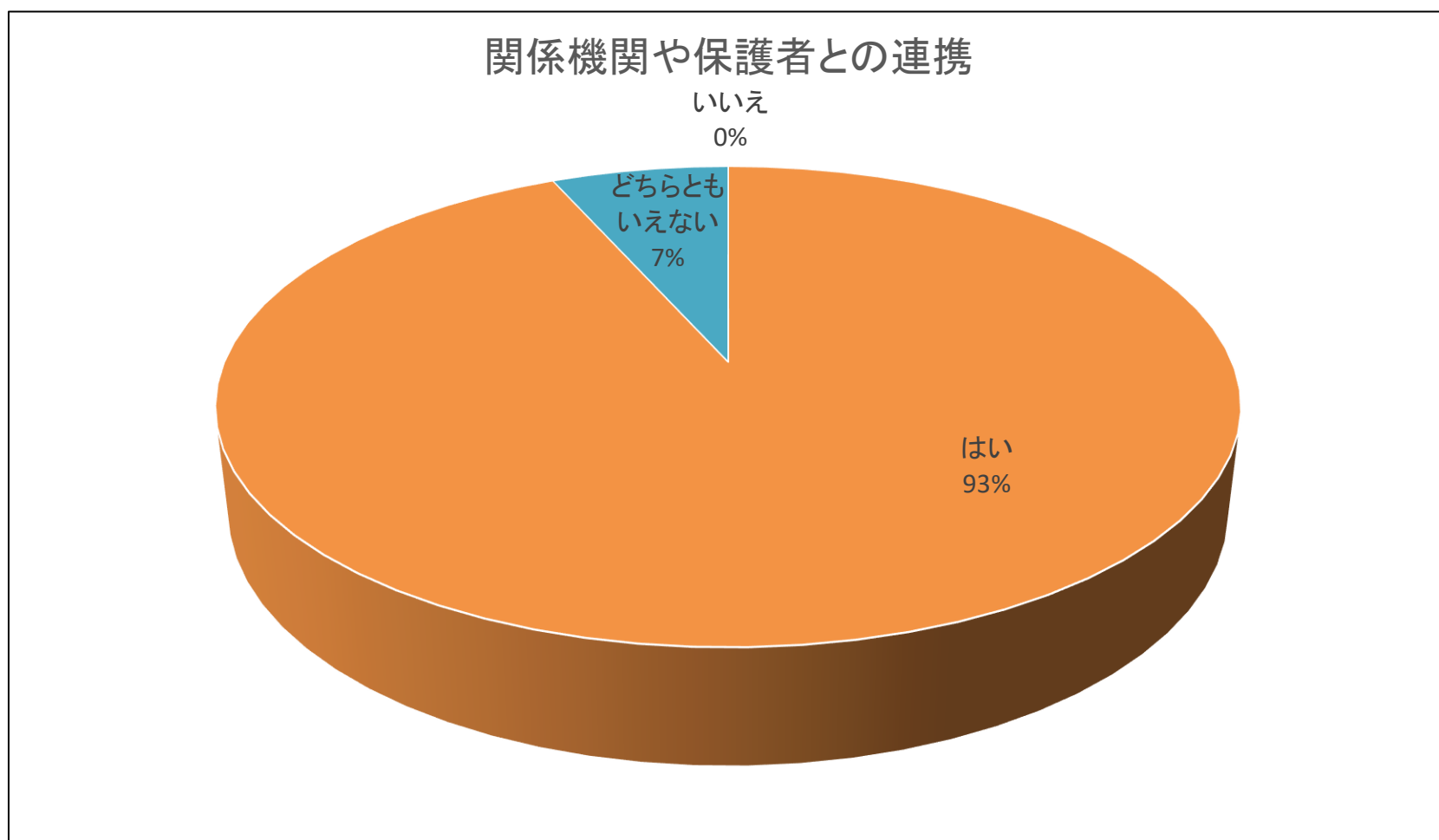
### 業務改善



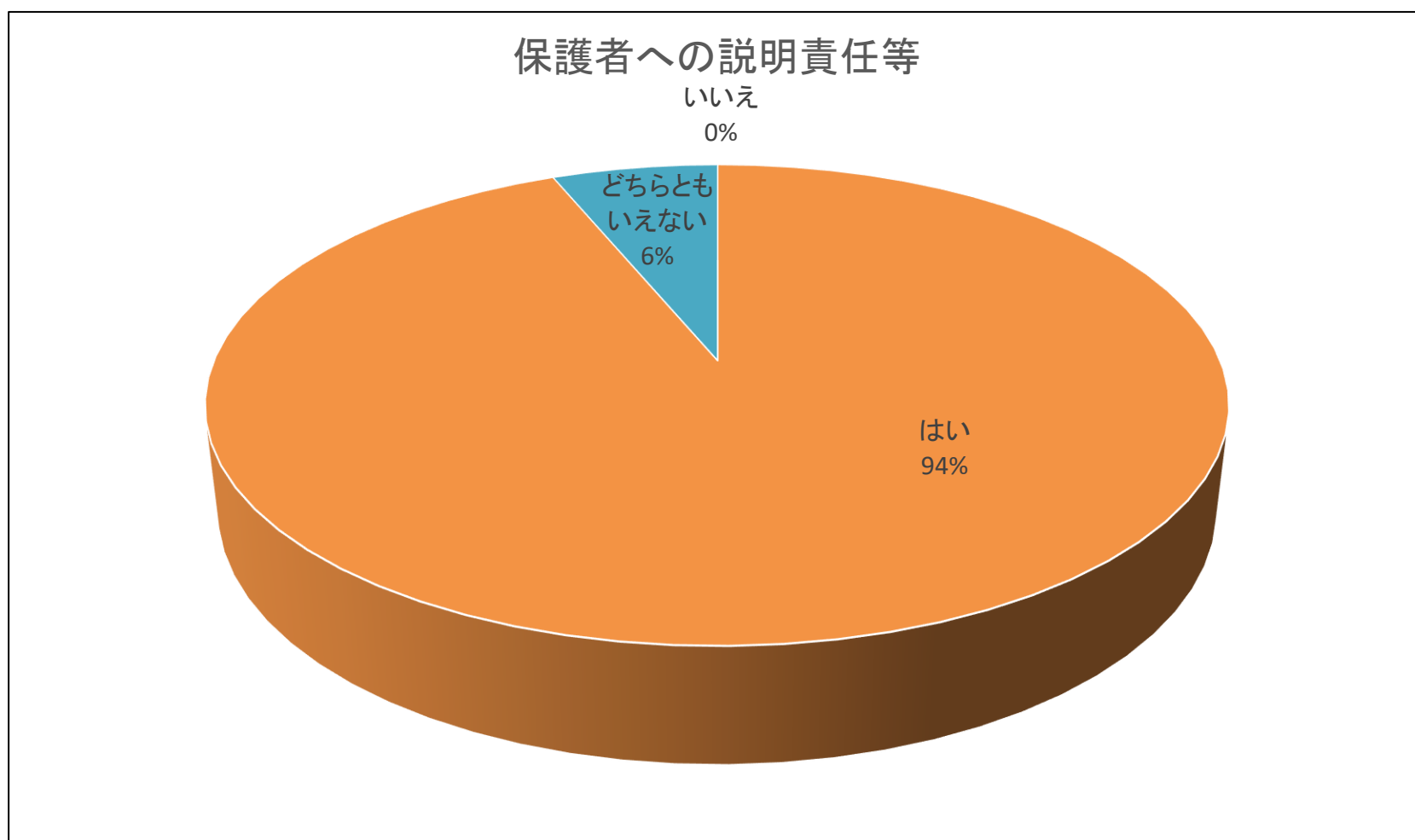
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	* サービス担当者会議や個別のアセスメントで聞き取りを行い、適切な支援について検討した上でサービス計画を作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	0	* 利用開始時に施設の様式でアセスメントを行い、かつ定期的なアセスメントツールとして振り返りシートを使用している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	0	* 児童発達管理責任者を中心にして関係機関の意見も十分に聞いた上で活動プログラムを立案している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0	* 1人1人に合ったプログラムを提供するため、支援者間で連携し決定している。また、評価の際に見直しも行っている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	0	* 学校を基準に連携して、計画的に課題を決め、ご家族からの要望を組み込んで細やかに支援している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	0	* 計画は、サービス導入前や更新時に保護者や関係者の意見を伺い立案している。その際、1人1人の課題と利用日に応じて活動を取り入れている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0	* 朝礼時に、当日の予定や支援内容を情報共有している。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	0	* 終了時に、当日の気づき等の振り返りを行い、共有を図っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	* 日々の記録については、二重チェックを行い、支援の確認や改善のために活用している。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	* 6ヶ月に一度モニタリングを行い、支援計画書の見直しを実施している。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	3	0	* 子どもの成長に応じて適宜活動内容をガイドラインで確認していくようにする。	
	合計	59	6	0	



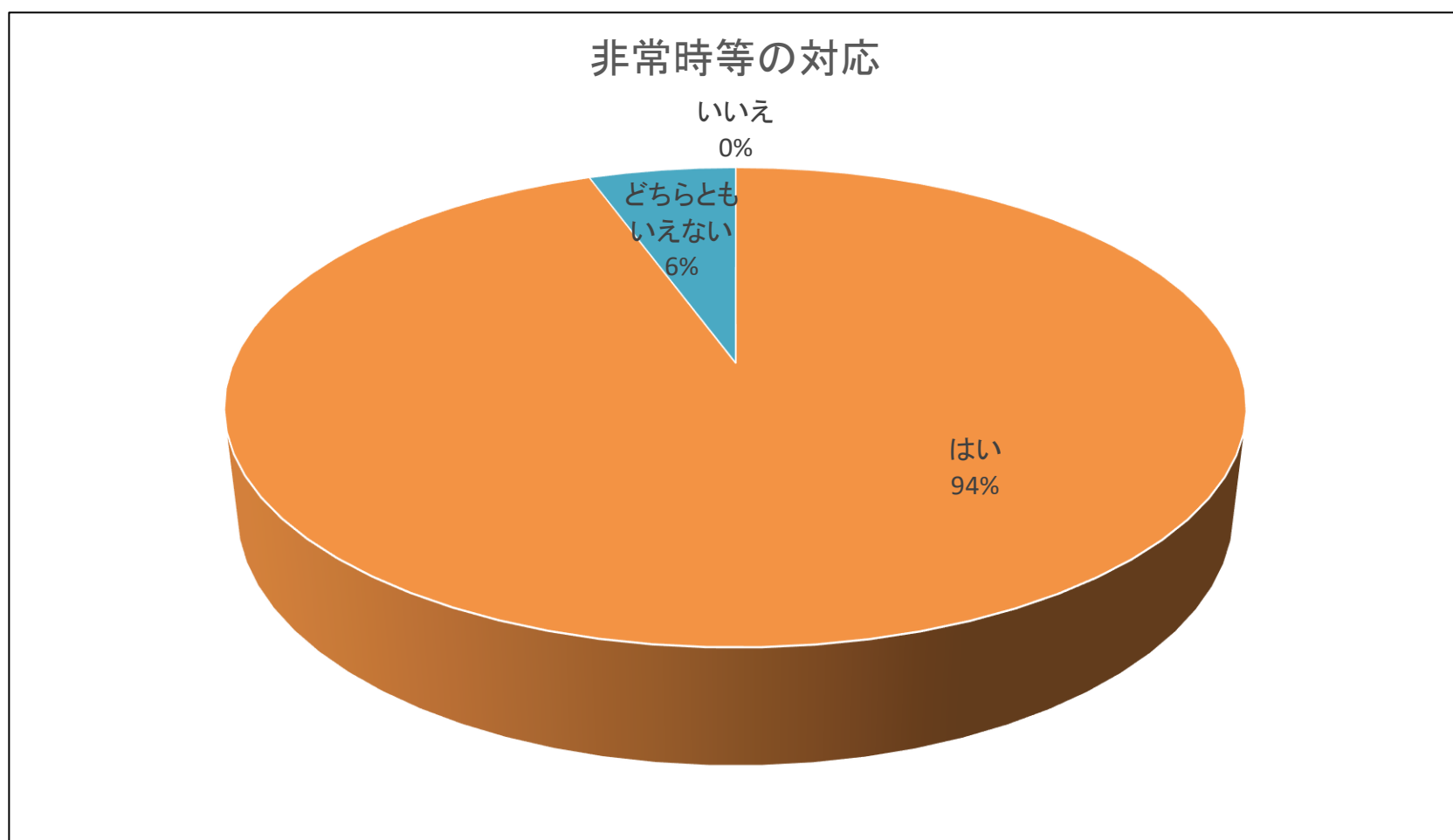
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0	* 利用児に対して各々担当職員を配置し、児童発達支援管理責任者と一緒に会議等に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	0	* 支援学校、各小学校との情報共有を細やかに行うようにして対応している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	2	0	* 必要に応じて医療機関と訪問看護、保健師等の関係者間での連絡体制を整えている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1	0	* 移行する際に、サービス担当者会議を開催し、事前訪問等により、情報共有を図っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0	0	* 学校の移行支援会議に参加し、情報を共有している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	0	* 医療的ケア児については、県の医療的ケア児支援センターから助言を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	1	0	* コロナのため、自粛していた。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	0	0	* 施設の管理者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	* 送迎時に、状況を報告したり相談を受けたりしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	0	0	* 職員が順番に研修を受け、体制を整えている。
		合計	56	4	0	



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0	* 契約時に、口頭と書面で説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0	* 連絡帳での相談に対しての返答はもちろん、送迎時等に保護者に声を掛け、話をしやすい雰囲気を中心けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	0	* コロナの状況を見極めながら感染対策を徹底した上で、保護者会を開催し支援している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	* 苦情解決責任者を設置し、苦情があった場合もマニュアルに基づき適切な対応を心がけている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	* 毎月、行事予定のおたよりを配布し、親の会の会報は、年3回程度発行している。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	* 職員に周知徹底している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	* 1人1人の特性や理解度に応じて行い、必要時はツール等を活用してコミュニケーションを図っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	0	* コロナ禍のため叶わなかったが、時期を見て行事を計画していく。
		合計	45	3	0	



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	0	* マニュアルは策定されているが適宜見直しを図り、周知についてはその方法を改善している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	* 毎年5月と11月の2回避難訓練を実施しており、保護者に対してもその対策について周知している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	* 内部研修と外部研修への参加を確保している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2	0	* 虐待防止委員会を設置し、身体拘束の定義については職員の理解がなされている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	0	* 食物アレルギーの子どもについては、弁当持参をお願いしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0	* リスクマネジメント委員会によって、毎月の会議で事例報告や情報共有を行っている。
		合計	34	2	0	



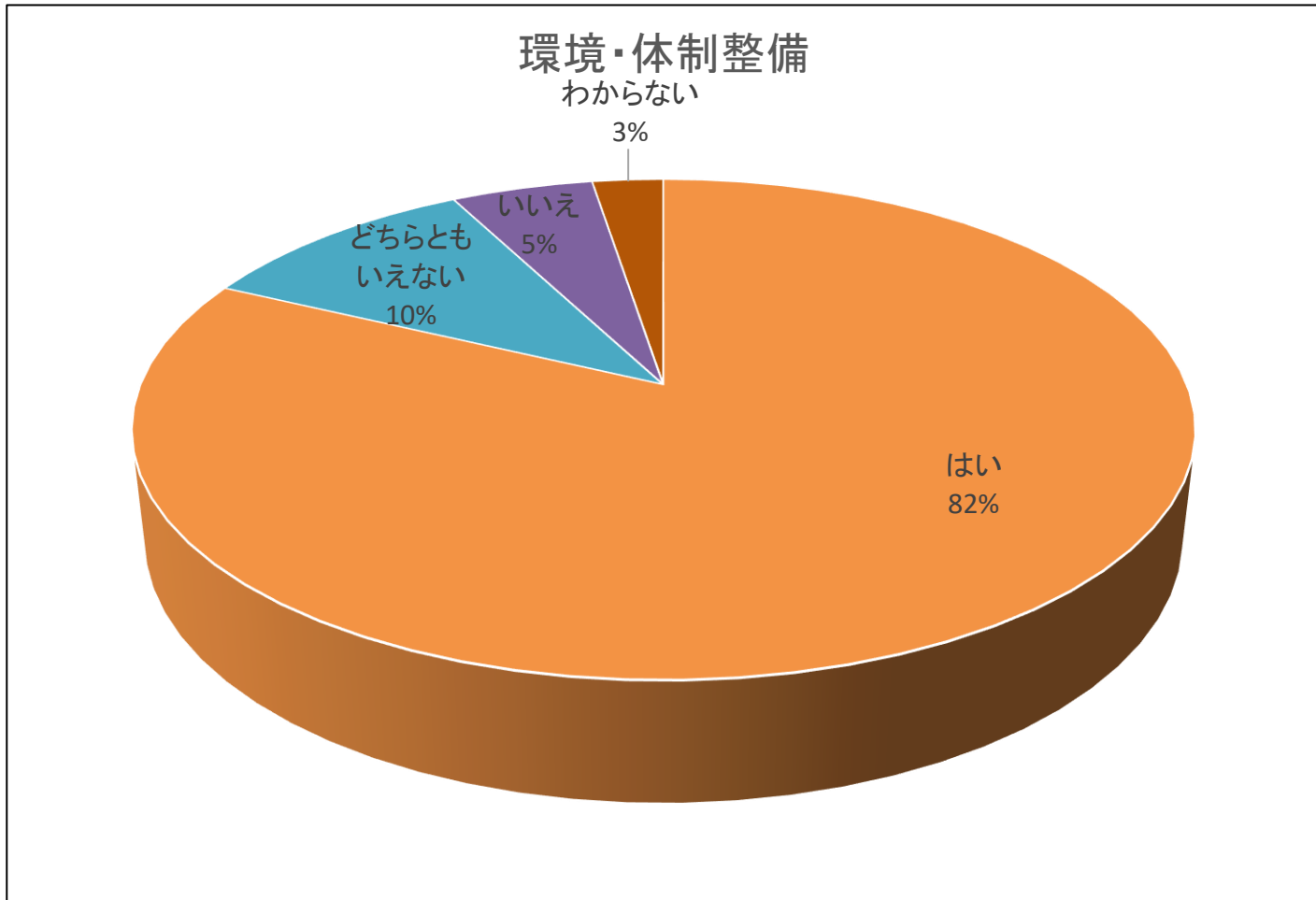
保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 12月 1日

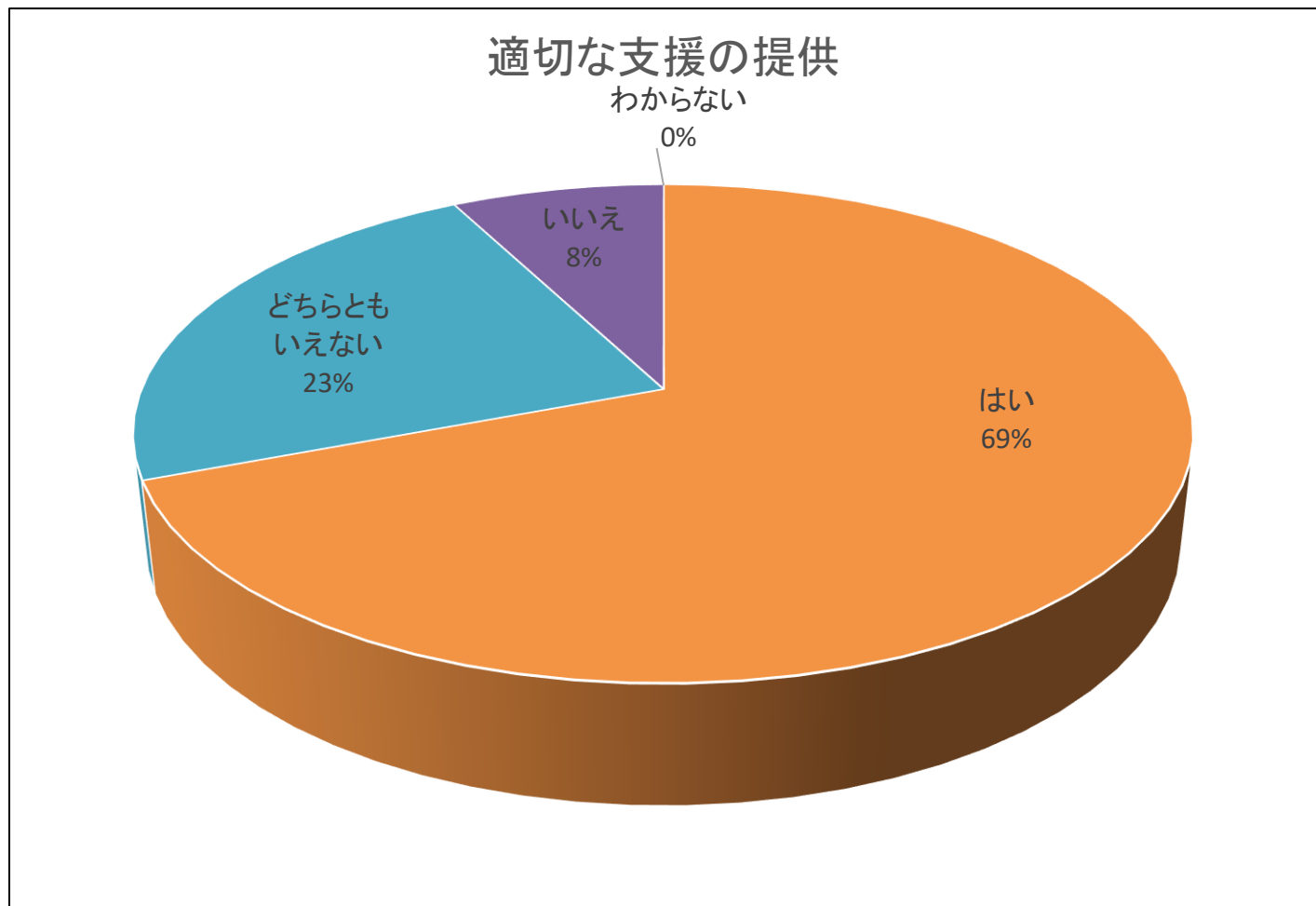
事業所名 多機能型ライフサポート 一互一笑

保護者等数(児童数) 回収数 13 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	3	2	1	* 運動する部屋があったらうれしい * テレビルームも狭い	* 同事業所の交流スペースを利用したり、活動の時間帯をずらしてスペースの確保を行っています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1	0	0		* 基準上の人員を確保した上で、利用日、利用人数、時間帯によって対応できるようにしています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	0	0	0		* バリアフリー化となっています。
	合計			32	4	2	1	

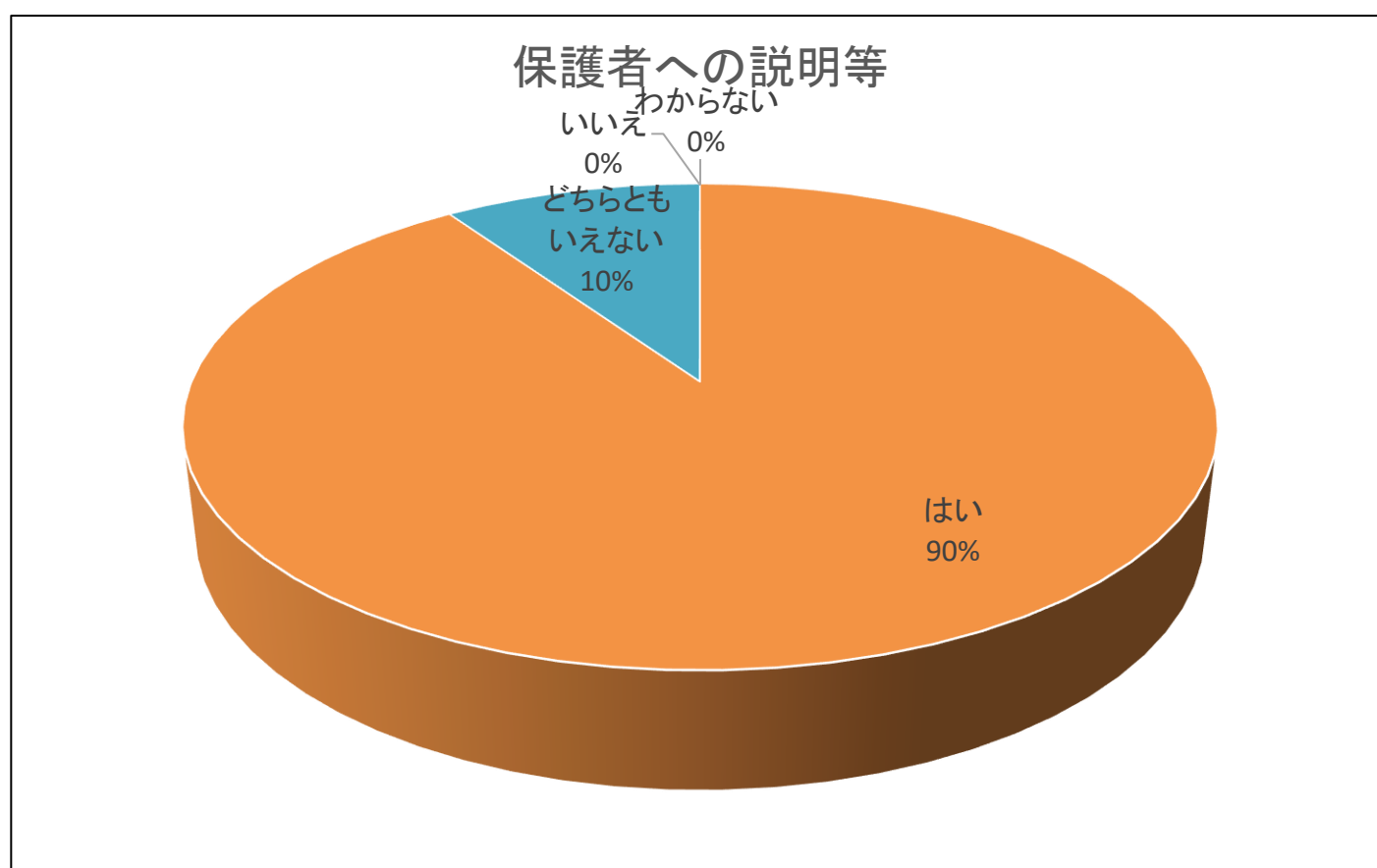


		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	13	0	0	0		* ニーズの収集について、偏りができないような工夫を考えています。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	10	2	1	0		* 1人1人に合ったプログラムを提供するため、支援者間で連携しています。また、評価の際に見直しも行っています。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	7	2	0	* もっと交流する機会を作って欲しい * コロナ過で難しい	* コロナの状況等を見極めながら、ふれあい健康センターや図書館のイベント等に参加して交流を図っています。
	合計			27	9	3	0	

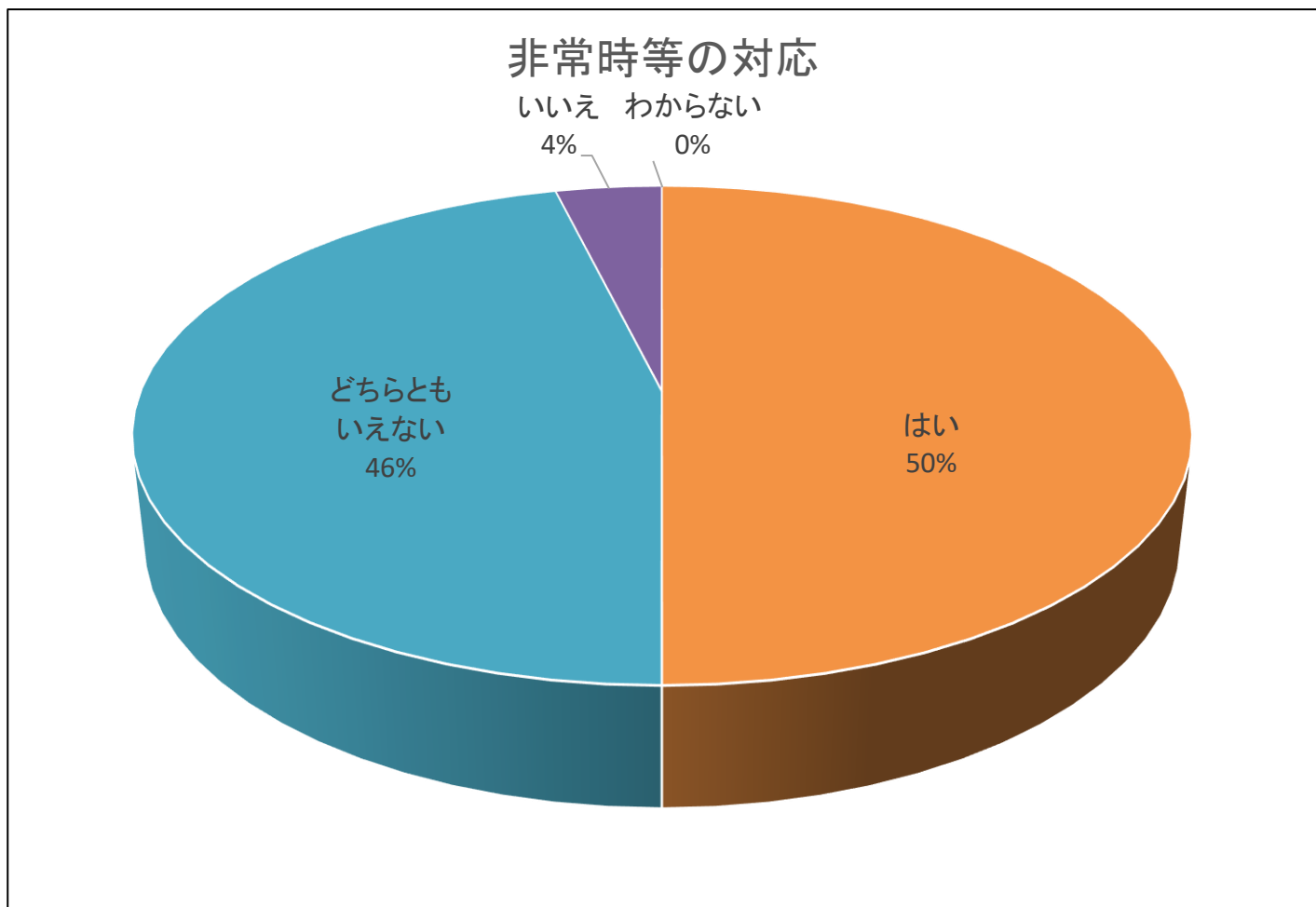




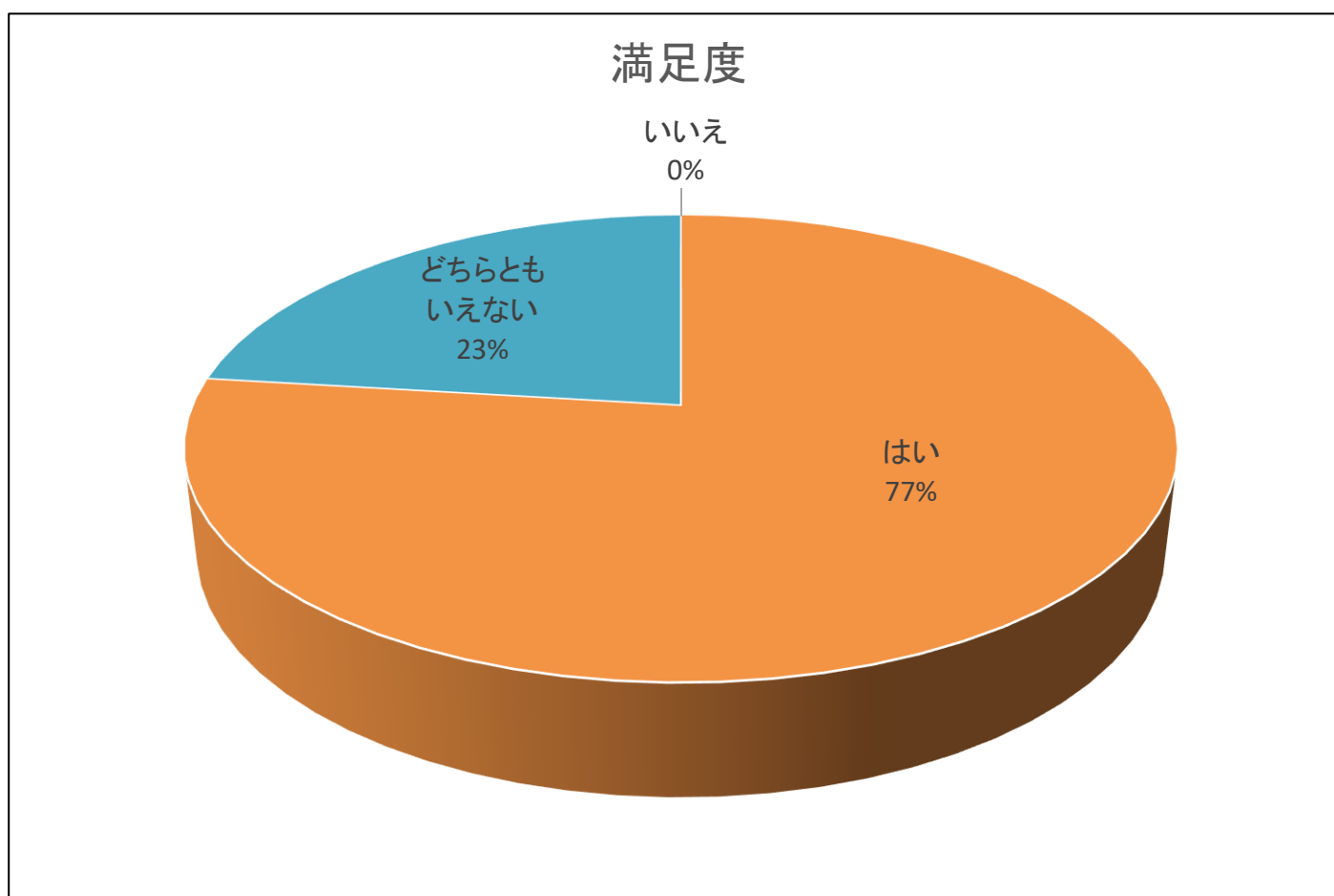
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1	0	0		* 契約時に、口頭と書面で説明を行っています。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	0	0	0		* 保護者との信頼関係を十分にし、子どもの発達状況や課題についてご家族との共有を大事にしています。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	0	0	0		* 相談機能を充実させていきます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	4	0	0		* コロナの状況を見極めながら感染対策を徹底した上で、保護者会を開催しています。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	1	0	0		* 苦情解決責任者を設定し、苦情があった場合もマニュアルに基づき適切な対応を心掛けています。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	0	0	0	* 連絡帳に利用時の様子を記載してありわかりやすい	* 連絡帳や送迎時に情報を伝え合ったり、定期的にモニタリングをして相談しやすいように配慮しています。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	3	0	0		* 毎月、行事予定のお便りを配布し、親の会の会報は、年3回程度発行しています。 * 自己評価の結果をホームページで公表し、お便り等で配布しています。
	14	個人情報に十分注意しているか	12	1	0	0		* 個人情報については、職員に周知徹底しています。
		合計	94	10	0	0		



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	7	1	0	*どの位の頻度で実施されているのか不明	*保護者会や保護者向けのおたよりでわかりやすく説明し、周知しています。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	5	0	0		*毎月1回、訓練を行っています。 *法人のSNSにも掲載しております。
合計			13	12	1	0		



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10	3	0	0		* 安全安心に楽しく通所して頂けるよう環境を整え、1人1人の特性に合わせた支援や活動ができるように支援しています。
	18	事業所の支援に満足しているか	10	3	0	0	* 皆さん丁寧に要望等に応じてくれてありがたい * もっといろいろなことに取り組んでほしい	* ご意見やご要望にできる限り添いながら、楽しく通所できるように支援しています。
	合計		20	6	0	0		



\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。